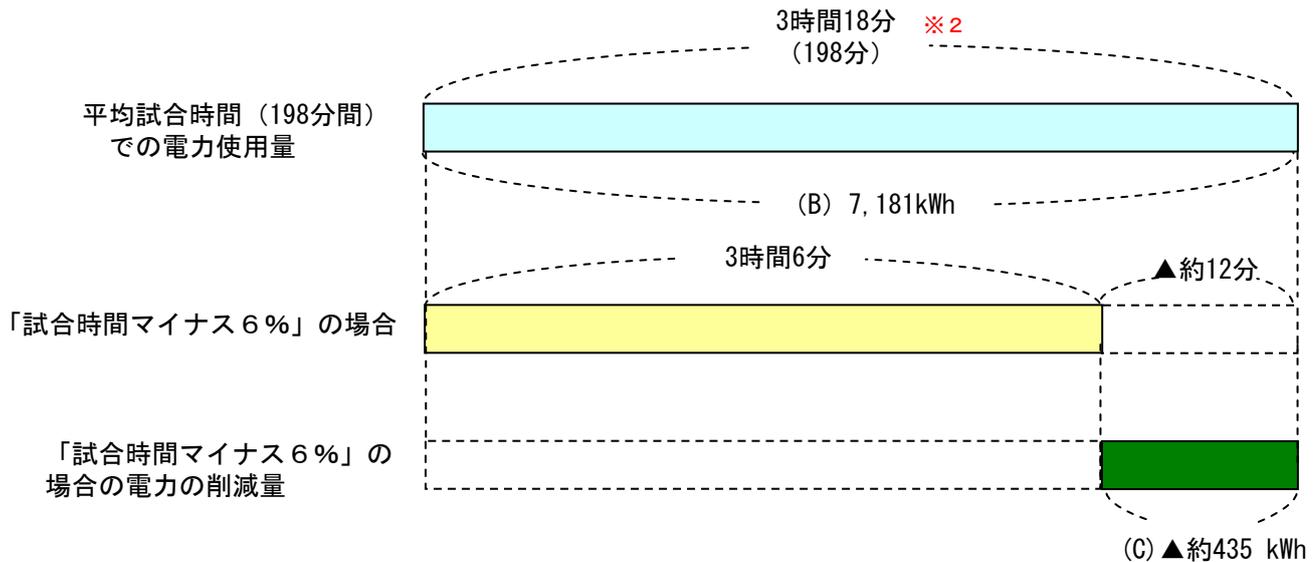


※数値は現段階での仮のものです

「試合時間マイナス6%」によるCO₂削減量(試算) (全球団の平均<推計>)

基本原単位

(A) 試合時間1分あたりの電力消費量 ※1 = 36.27 kWh



1試合あたり

(B) 平均試合時間1試合(198分)あたりの電力消費量
= (A) 36.27 kWh × 198分 ⇒ 7,181 kWh

(C) 『試合時間マイナス6%』(約12分間短縮した場合)の1試合あたり電力消費削減量
= (A) 36.27 kWh × ▲約12分 ⇒ ▲約435 kWh

(※CO₂換算で約242kg-CO₂の削減 ※3 栗の苗木6,400本、アオダモ81本が吸収する量に相当) ※4 ※5

年間全チーム全試合

『試合時間マイナス6%』を全球団で1シーズン(総試合数864試合)取り組んだ場合の電力消費削減量

= (C) ▲約435 kWh × 864試合 ⇒ ▲約37万6千 kWh

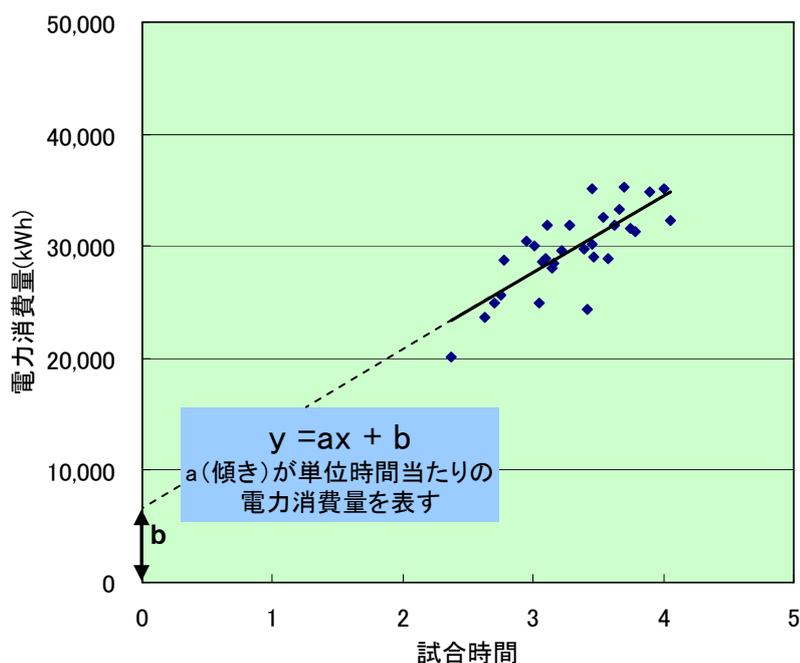
(※CO₂換算で約209t-CO₂の削減 栗の苗木550万本、アオダモ7万本が吸収する量に相当)

(注) 今回の推計は、各球団へのアンケートを行い回答のあった球団からのデータに基づいている。

- ※1 係数の値(kWh/分)により推計したもの ー下記参照ー
- ※2 全球団全試合を平均した1試合あたりの試合時間(分)
- ※3 地球温暖化対策の推進に関する法律施行令第3条による
温室効果ガス排出係数(=0.555)を乗じることにより算出
- ※4 日本植木協会コンテナ部会によるクリの苗木の吸収量データより算出
- ※5 本資料作成チームの独自推計

(※1 試合1分あたりの電力使用量の算出方法について)

対象となる球場ごとに試合の「試合時間」と「電力消費量」をプロットし、両者の関係を代表する直線(線形近似直線)を推定し、その傾き(図のa)から、試合時間1分当たりで使う追加的な電力使用量(kWh/分)を算出する。またグラフのbは、試合時間の短縮では削減されない(試合時間にかかわらず発生する)電力使用量を表す。今回の試合時間短縮による電力消費削減量の試算においては、グラフのbについては試算外としている。



資料作成 ; 筑波大学大学院生命環境科学研究科
社会環境システム研究室
E-mail: uchida@jsrsai.envr.tsukuba.ac.jp